



カリフォルニアの風

サンフランシスコ日本語補習校 平成30年秋季号

夏休み明け元気に登校

夏休み明けの9月1日(土)、幼小部、中高部の4校とも授業を再開しました。2か月ぶりに見る子ども達は、



一回り大きくなって表情も引きしまり、心身ともに成長の様子が伺えました。幼小サンフランシスコ校の全校朝会では、主幹の坂田先生から「三つの道」のお話がありました。『皆さんには三つの道があります。一つ目は「学校に通う道」、二つ目に「夢への道」、三つ目に「時間の道」があります。中でもとても大切な道は「時間の道」です。時間の道だけは後戻りできません。学校生活の中で「ああすればよかった、こうすればよかった」ということがいっぱいあると思います。例えば、友達とけんかしました。謝ろうか、

どうしようか迷っているうちに結局、時間だけが過ぎて謝る事ができなかった経験があると思います。けんかした時間は戻りません。だからすぐに謝ることがたいせつです。この「一瞬」という時間は今しかありません。この「一瞬」を大切に、ひたすら自分の夢に向かって進んでください。皆さんは、これから長い道を歩んで行きますが、その道がいい道であることを願っています。』

アイデアあふれる夏休み作品展

幼小部においては、授業再開当日、恒例の夏休み作品展が開かれ多くの作品が保護者会の皆さんのご協力により特別教室一杯に展示されました。作品は、多種多様に渡り、独



創的な作品から楽しい作品まで一日見学しても飽きないほどの傑作が見られました。

具体的には、風洞実験装置を制作し「どの飛行機の羽の形が一番飛ぶか実験」、「富士山ってどんな山」、「日本のお盆」、「グーグルアシストを作ろう」、「ロボット制作」などがあり、多種多様な中にも補習授業校の「夏休み作品展」らしさが見られました。作品は、学級単位で見学をしました。子どもたちは、友達の作品を一つ一つ丁寧に見て回りながら、時折作品の素晴らしさに立ち止まり熱心にメモを取ったりしていました。